

説明会等で頂いた代替案に関する意見について

【一覧表】

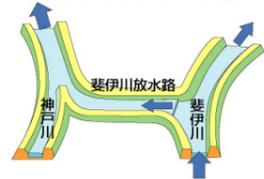
本資料は、平成16年12月に公表した「大橋川改修の具体的内容」の大橋川改修以外で洪水時の宍道湖水位を下げる方法について検討しています。検討項目については、大橋川改修の説明時等に頂いた意見（代替案）について、とりまとめを行っています。今後も、頂いた意見（代替案）については検討し、本資料を更新していきます。

検 討 項 目 一 覧
大橋川改修以外で洪水時の宍道湖水位をH.P + 2.5mに下げる方法
大橋川改修の代わりに佐陀川を改修すればどうか？
大橋川改修の代わりに日本海へトンネルを掘れば？
日本海へのトンネル案にポンプを併用すれば？
大橋川改修の代わりに西長江川を活用すれば？
大橋川改修の代わりに天神川を改修すればどうか？
大橋川改修の代わりに宍道湖周辺に遊水地をつくれば？
大橋川改修の代わりに地下調整池をつくればどうか？
大橋川に潜り堰(可動式の塩止め堰)を設置して深く掘削すればどうか？
上流部の狭窄部は拡幅の代わりにバイパストンネルを掘ればどうか？
下流部の狭窄部は拡幅の代わりにバイパストンネルを掘ればどうか？
その他
大橋川改修の代わりに斐伊川放水路をさらに拡幅すれば？
森林を整備すれば、大橋川改修は不要ではないか？

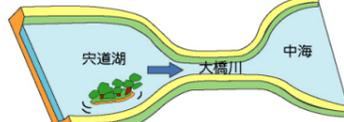
斐伊川・神戸川治水の3点セットとは

- ① 下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤を整備します
- ② 中流の斐伊川放水路の建設と斐伊川本川の改修を行います
- ③ 斐伊川と神戸川の上流にダムを建設します

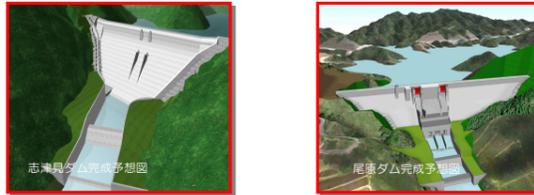
2 斐伊川放水路の建設と斐伊川本川の改修



1 大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤の整備



3 尾原ダム・志津見ダムの建設



下流へ流れる洪水を調整するため、洪水を一時的にダムに貯留します。

流域の特性・課題を踏まえ、流域全体（上流・中流・下流）で治水対策に対する負担を行うことを前提として、計画の策定がなされています。

大橋川改修以外で洪水時の宍道湖水位をH.P.+2.5mに下げる方法とは？

尾原ダム、志津見ダム + 放水路 + 大橋川改修

斐伊川・神戸川の抜本的な治水対策である3点セット（下流部の大橋川改修、中流部の斐伊川放水路、上流部の尾原・志津見ダム）について大橋川改修に代わる治水対策について検討を行った

3点セットなし

宍道湖水位
H.P.+3.68m

尾原ダム、志津見ダム
+
放水路

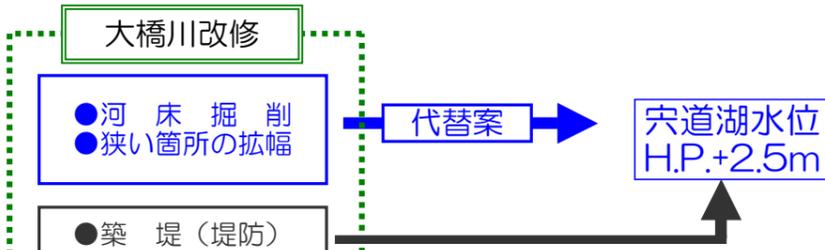
完成時
宍道湖水位
H.P.+2.72m

斐伊川・神戸川の
抜本的な治水対策
3点セットあり
尾原ダム、志津見ダム
+
放水路
+
大橋川改修

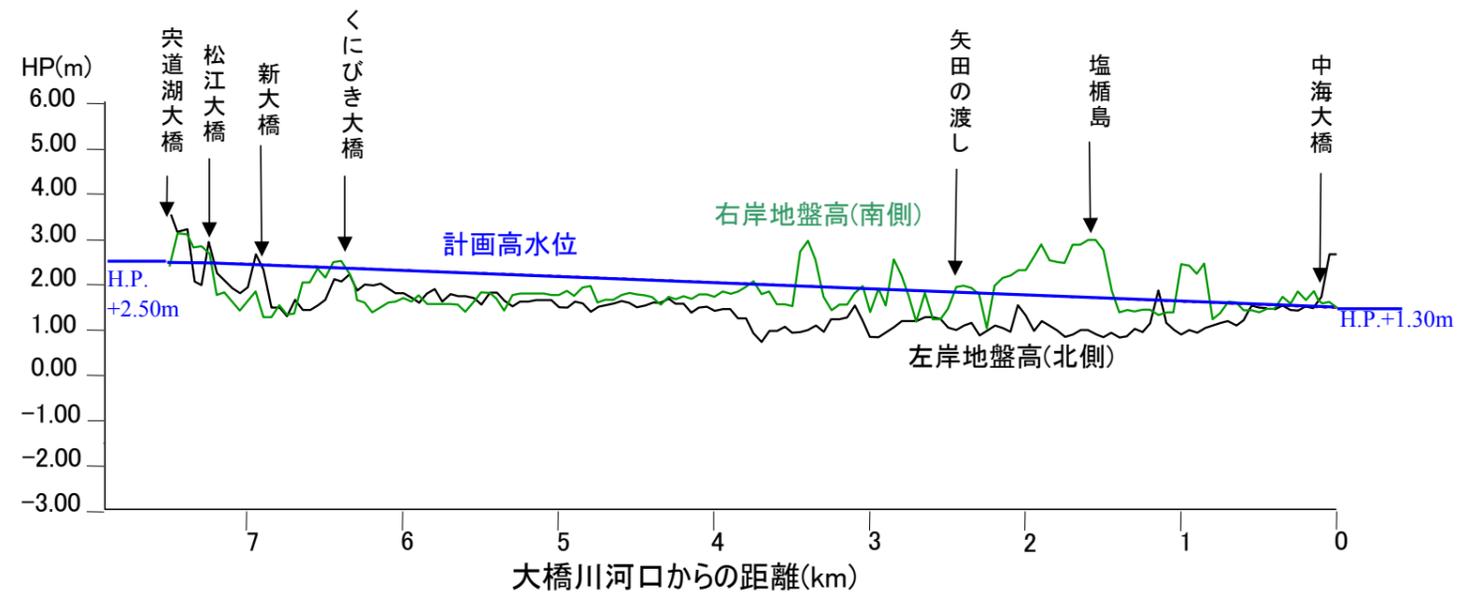
完成時
宍道湖水位
H.P.+2.5m

- 河床掘削
- 狭い箇所の拡幅
- 築堤（堤防）

代替案の検討



宍道湖水位をH.P.+2.5mにおさえたとしても、大橋川沿川は地盤の高さが低く、ほとんどの箇所では堤防がない状態のため松江市街地の浸水を防ぐためには堤防が必要です。



説明会等で頂いた代替案に関する意見について【一覧表】

No	検討事項	意見を頂いた箇所	日付	質問意見	意見集約	回答	関連参考資料	
1	大橋川改修以外で洪水時の宍道湖水位をH.P.+2.5mに下げる方法	コミュニティーセンター来館	平成16年3月1日(木)	大橋川のかわりに佐陀川で対応すれば良いのでは。	大橋川改修の代わりに佐陀川を改修すればどうか。	【佐陀川を活用した改修案】 現在、佐陀川では流下能力を110m ³ /sに増やす改修を実施中です。 佐陀川の全川約8.5kmにわたり約70mの川幅(現計画の約2倍)が必要です。 全川にわたって橋梁架け替えや家屋移転が必要です。 日本海からの塩水遡上による、宍道湖の水環境への影響が懸念されます。 このような佐陀川の改修を行っても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。		
2		コミュニティーセンター来館	平成16年3月2日(火)	佐陀川を放水路として利用できないのか。				
3		コミュニティーセンター来館	平成16年12月14日(木)	佐陀川を改修すれば大橋川改修はしなくても良いのでは。				
4		宍道湖漁業共同組合・宍道湖ソジミ漁業組合	平成16年12月3日(金)	佐陀川を拡幅すれば良いのではないか。				
5		松江商工会議所	平成16年12月22日(水)	大橋川改修ではなく、別の方法で対応できないか。(佐陀川や天神川を使えないのか)				
6		朝酌町矢田地区説明会	平成17年1月8日(土)	宍道湖の水位を下げるが大橋川改修だけに限っているような気がする。佐陀川や平田の川などを利用できないのか。				
7		豊かな汽水域を後世に活かす市民会議	平成17年1月27日(木)	佐陀川を改修すれば、少しでも良くなるのでは。				
8		境港一般説明会	平成17年2月5日(土)	佐陀川を拡げれば良いのではないか。				
9		城東地区対策協議会(南田町)	平成17年2月8日(火)	佐陀川の代替案について、どうして採用されないか説明してほしい。		大橋川改修の代わりに宍道湖から日本海へ直接トンネルを掘ったらどうか。	【佐陀川を活用した改修案+トンネル併用】 現在、佐陀川では流下能力を110m ³ /sに増やす改修を実施中です。 佐陀川は、約4.4kmにわたり約70mの川幅(現計画の約2倍)が必要です。 延長約3.1km、直径約9mのトンネルが3本必要です。 日本海からの塩水遡上による、宍道湖の水環境への影響が懸念されます。 このような佐陀川の改修を行っても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。	
10		大橋川改修事業環境調査計画説明会	平成17年5月14日(土)	大橋川改修で2000億かかると聞いている。佐陀川の拡幅を行った方が安いのではないか。				
11		第2回大橋川勉強会(白潟サロン)	平成17年6月30日(木)	佐陀川での代替案は考えられないのか。				
12		コミュニティーセンター来館	平成17年7月2日(土)	改修工事までしなくとも佐陀川を拡げ水をもっと流してはどうか。				
13		コミュニティーセンター来館	平成17年7月20日(水)	佐陀川を拡幅すれば、大橋川改修は不要ではないか。				
14		コミュニティーセンター来館	平成18年3月16日(木)	佐陀川の拡幅は何故しないのか。				
15		市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	寛文年間に東流したのを元の神戸川～大社浜に現在よりも大量に流せば現在の東流化が不安。また、佐太川の拡大化もある。				
16		市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	最初に大橋川は東流ありきでなく佐太川拡張。(堤防は原発避難道路とします)				
17	大橋川改修事業環境調査計画説明会	平成17年5月14日(土)	松江は、観光都市で景観が重要である。事業費や街の重要性も考えると、直接、海に排水する方が良いのではないか。	大橋川改修の代わりに宍道湖から日本海へ直接トンネルを掘ったらどうか。	宍道湖水位をH.P.+2.5mにおさえるためには、延長約3.6km、直径約9mのトンネルが3本必要です。 このようなトンネルを整備しても、宍道湖水位H.P.+2.5mに対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。			
18	城東地区治水対策協議会	平成17年7月2日(土)	トンネルにより宍道湖から直接日本海へ流したらどうか。堤防の高さも低くできるのではないか。					
19	城東地区治水対策協議会	平成17年7月2日(土)	水位差がなくて流れないのであれば、ポンプで対応すればよいではないか。	大橋川改修の代わりに宍道湖から日本海へ直接トンネルを掘ってポンプを併用してはどうか。	宍道湖水位をH.P.+2.5mにおさえるためには、延長約3.6km、直径14mのトンネルが1本と排水能力Q=220m ³ /sのポンプ施設が必要です。 トンネル及びポンプの継続的な維持管理が必要です。 流入部と流出部に施設を設置するため、新たな用地確保が必要です。 このようなトンネルとポンプを整備しても、宍道湖水位H.P.+2.5mに対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。			
20	松江商工会議所	平成17年7月27日(水)	宍道湖から日本海への放水路トンネルにポンプを併用した場合はどうなるのか。					
21	京店商店街意見交換会		平成17年5月10日(火)	佐陀川については110m ³ /sしか排水できないと、主な質問とお答えにあるが、さらに西側の西長江川から古浦の浜へトンネルを掘る方が、大橋・新大橋の架け替え等によるダメージに比べれば許容できるのではないか。	大橋川改修の代わりに西長江川を活用すればどうか。	【西長江川を活用した掘削案】 標高200m以上の山地を開削する必要があり、広大な面積の山林が消失するため、自然環境への影響が大きくなります。 このような西長江川の改修を行っても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。		
						【西長江川を活用した掘削案+トンネル併用】 宍道湖水位をH.P.+2.5mにおさえるためには、開削部の延長は約1km、トンネル部の延長は約3km、直径約9mで3本必要です。 このような西長江川の改修を行っても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。		

説明会等で頂いた代替案に関する意見について【一覧表】

No	検討事項	意見を頂いた箇所	日付	質問意見	意見集約	回答	関連参考資料
22	大橋川改修以外で洪水時の宍道湖水位をH.P.+2.5mに下げる方法	コミュニティーセンター来館	平成14年10月12日(土)	大橋川の拡幅の代わりに天神川の改修で対応できないか。	大橋川の代わりに天神川を改修したらどうか。	天神川全川の川幅を2倍に広げるとともに築堤が必要となり、天神川に架かる橋梁17橋(JR含む)の架け替えとそれに伴う取り付け道路の高上げが必要です。 天神川沿川には、全川にわたり家屋が密集しているため大規模な家屋移転が必要です。 洪水により宍道湖や大橋川の水位が上がったときには、天神川から市街地への浸水を防ぐため上下流を水門で閉める計画としています。 このような天神川の改修を行っても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。	
23		松江商工会議所	平成16年12月22日(水)	大橋川改修ではなく、別の方法で対応できないか。(佐陀川や天神川を使えないのか)			
24		豊かな汽水域を後世に活かす市民会議	平成17年1月27日(木)	洪水になって堤防でとめていくという方法一つではなく、遊水地などの他の方法で大橋川改修の規模を緩和できないか。例えば遊水地だとのくらいの規模になるのか。	大橋川改修の代わりに宍道湖周辺に遊水地をつくればどうか。	宍道湖は、自然の遊水機能を有した約79km ² の広さの湖です。 宍道湖の水位を10cm下げただけでも、水深50cmで約16km ² の広さの土地が必要です。	
25		大橋川改修事業環境調査計画説明会	平成17年5月14日(土)	4月19日の山陰中央新報に国土交通省の記事で、今後は水田などに遊水させ補償する方が良いと記載されていたが、この地域では畑や田がたくさんあるのに、それを遊水地として使用した計画としないのか。			
26		第2回大橋川勉強会(白濁サロン)	平成17年6月30日(木)	国交省は治水対策の方針として遊水地という考えも盛り込まれたが、そういうことは考えられないのか。			
27		コミュニティーセンター来館	平成17年8月25日(木)	遊水池については検討されたか。			
28		松江商工会議所	平成16年12月22日(水)	オランダ等の先進国に学んで、川底バイパスなどの排水管を埋設するといった近代土木の工法を踏まえてほしい。	大橋川改修の代わりに地下調整池をつくればどうか。	宍道湖の水位を10cm下げただけでも必要な容量は約800万m ³ となり、くにびきメッセ80個分に相当する地下構造物が必要です。 ポンプ施設などの維持管理も継続的に必要です。	
29		大橋川周辺まちづくり検討委員会 治水説明会	平成18年6月22日(木)	狭窄部にマウンドがあり、良い場所がない。マウンドをカットしマウンドの場所を移す。マウンドは潜り堰にしてパターンと倒してしまうことも考えられるのではないのか。	大橋川に潜り堰(可動式の塩止め堰)を設置して深く掘削すればどうか。	大橋川の拡幅の代わりに、宍道湖水位を2.5mにおさえるため、潜り堰(可動式の塩止め堰)を設置した上で、河床をより深く掘削する場合、中浦水門のように堰柱が水面上に出る大規模な施設となり、景観や環境の面で影響が大きくなるものと考えます また、中海からの塩水遡上を再現する堰の操作には、継続して要員の配置が必要であり、堰の維持管理を含め将来の負担になることが考えられます。 さらに、宍道湖の水位を2.5mにおさえたとしても、大橋川沿川は地盤の高さが低く、ほとんどの箇所が堤防がない無防備な状態であるため、仮に潜り堰を設置しても、松江市街地の浸水被害を防ぐためには堤防が必要となります。	
30		松江商工会議所	平成16年12月22日(水)	オランダ等の先進国に学んで、川底バイパスなどの排水管を埋設するといった近代土木の工法を踏まえてほしい。	上流部の狭窄部は拡幅の代わりにバイパストンネルを掘ればどうか。	宍道湖水位をH.P. 2.5mにおさえるためには、延長約0.9km、管径約16mのトンネルが必要です。トンネルの出口にはポンプが必要です。 トンネルは、市街地の建物に影響のない深度に設置する必要があります。 トンネル及びポンプの継続的な維持管理が必要です。 このようなバイパストンネルを整備しても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。	
31		第5回大橋川周辺まちづくり検討委員会	平成18年8月10日(木)	大橋川改修については、拡幅に代わる隧道を作る方法などもある。			
32	市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	景観は大切だと思います。浸水をどうするか水が早く抜ける方法としてトンネル方式を考えてください。				
33	松江商工会議所	平成16年12月22日(水)	オランダ等の先進国に学んで、川底バイパスなどの排水管を埋設するといった近代土木の工法を踏まえてほしい。	下流の狭窄部は拡幅の代わりにバイパストンネルを掘ればどうか。	宍道湖水位をH.P. 2.5mにおさえるためには、延長約1.2km、管径約17mのトンネルが必要です。トンネルの出口にはポンプが必要です。 トンネル及びポンプの継続的な維持管理が必要です。 このようなバイパストンネルを整備しても、宍道湖水位(H.P. 2.5m)に対応するため、大橋川の河岸の高上げが必要です。		
34	第5回大橋川周辺まちづくり検討委員会	平成18年8月10日(木)	大橋川改修については、拡幅に代わる隧道を作る方法などもある。				
35	市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	大橋川、朝酌川、天神川、馬橋川の合流する地点辺りから水道トンネルを掘るのも一案であろう。				
36	市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	下流部にトンネルにして放流する考えはないか。				
37	市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	景観は大切だと思います。浸水をどうするか水が早く抜ける方法としてトンネル方式を考えてください。				

説明会等で頂いた代替案に関する意見について【一覧表】

No	検討事項	意見を頂いた箇所	日付	質問意見	意見集約	回答	関連参考資料
38	その他	城東地区(末次・東本町1～3丁目)説明会	平成17年2月7日(日)	斐伊川放水路やダムで対応できるようにならないか。	大橋川改修の代わりに斐伊川放水路をさらに拡幅すればどうか。	<p>斐伊川放水路を整備する中流地域は、斐伊川・神戸川の総合的な治水対策(3点セット)として、上・中・下流がそれぞれ治水機能を分担することにより同意し、437戸の家屋移転をはじめ地域の方々の様々のなご協力をいただき、工事を先行しています。</p> <p>これら斐伊川・神戸川の治水対策により、一番の恩恵を受ける下流域の取り組みなしに、これ以上の負担の同意を得ることは現実的ではありません。</p> <p>また、放水路の工事も25橋中16橋の架け替えが完了し、大規模に拡幅する神戸川の築堤工事も8割程度が終わっており、今の時点でさらに拡幅することになれば、これら事業の大部分が無駄になります。</p>	
39		京店商店街意見交換会	平成17年5月10日(火)	神戸川の落差は7mあるので、もっと分流量を多くできるのではないか。			
40		コミュニティーセンター来館	平成17年7月20日(水)	出雲でもっと多く分流すれば、大橋川改修が不要とならないのか。			
41		コミュニティーセンター来館	平成17年8月25日(木)	放水路にもっと多く分流すれば、大橋川改修が不要では。			
42		大橋川改修事業環境調査計画説明会	平成18年4月22日(土)	放水路で分水するようであるが、大橋川改修をやめるということを選択肢に入れて考えてはどうか。不足するなら、放水路をさらに掘り下げるか拡幅するなりして対応したらどうか。			
43		市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	寛文年間に東流したのを元の神戸川～大社浜に現在よりも大量に流せば現在の東流化が不安。また、佐太川の拡大化もある。			
44		市民意見交換会(委員会まちづくり基本方針案)	平成18年9月10日(日)	我が国最初公害河川(カナナ流し)の影響により東流したので、元の大社湾に流せば隣県のコンタクト不要である。			
45		境港一般説明会	平成17年2月5日(土)	治水も大切だが、森林の保水能力を上げる事も重要であり、森林の保護なども視野に入れるべき。			
46	城東地区(東本町4丁目～追子団地)説明会	平成17年2月12日(土)	堤防をつくるだけでは街は守れない。山の保全についてなど、根本的なところから見直して頂きたいと思う。				
47	第2回大橋川勉強会(白濁サロン)	平成17年6月30日(木)	長期的な目で環境を考える上で森林整備が必要ではないか。				
48	コミュニティーセンター来館	平成17年8月23日(水)	防災に対して山林が果たす役割は大きい。				